

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	大気汚染物質による暴露影響研究費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度		担当課室	総務課		総務課長 加藤 庸之		
会計区分	一般会計		施策名	3-1 大気環境の保全 (酸性雨・黄砂対策を含む)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法第16条第3項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	微小粒子状物質(PM2.5、粒子状物質のうち粒径2.5μm以下のもの)及び光化学オキシダント等の大気汚染物質の健康影響に関する諸調査を実施することにより、大気環境基準の設定・見直し等に必要な科学的知見を集積する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 微小粒子状物質及び光化学オキシダント等の大気汚染物質による疫学調査、毒性学調査の調査計画の策定及びその実施。 微小粒子状物質の曝露データの収集。 環境ナノ粒子を用いた動物曝露実験や環境ナノ粒子の性状把握等を行い、生体影響等を明らかにするための検討を実施。 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	211	211	293	269	290	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	211	211	293	269	290	
	執行額		272	204	284			
執行率 (%)		128.9%	96.7%	96.9%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	当業務は、環境基本法等に基づき、大気汚染物質等の健康影響に関する諸調査を実施することにより、大気環境基準の設定・見直し等に必要な科学的知見を集積するものであり、定量的な成果指標には馴染まない。		成果実績	—	—	—	—	—
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当業務は、環境基本法等に基づき、大気汚染物質等の健康影響に関する諸調査を実施することにより、大気環境基準の設定・見直し等に必要な科学的知見を集積するものであり、定量的な活動指標には馴染まない。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
単位当たり コスト	— (円/)		算出根拠	成果指標及び活動指標には馴染まないことから、単位当たりコストは算出できない。				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	公害調査費	230	257	有害大気汚染物質による健康影響を把握するための調査業務等の実施が見込まれる。				
	土地建物借料	1	1					
	公害調査等 地方公共団体委託費	2	2					
	公害調査等委託費	36	31	環境ナノ粒子等に関する調査研究業務について事業内容を見直し。				
	計	269	290					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基準は、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として設定され、行政上の目標となるものである。すなわち、各種施策を講ずる上での拠り所となるものであり、環境基準の設定・見直しに関する知見を集積する当事業の優先度は高い。 ・環境基本法の規定により、環境基準の設定等は国が行うこととされている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・請負先等の選定に当たっては、一般競争入札(総合評価方式を含む)を実施しており、競争性が確保されている。また、随意契約のものであっても、企画競争を実施するなど、競争性に十分に配慮している。 ・無駄なく効率的に事業が行われており、中間段階での支出は合理的である。 ・費用・使途は、測定機のレンタル料や、業務実施のための人件費など、事業の実施に真に必要なものに限定されている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・成果物は、今後の大気環境基準の設定・見直し等の検討の際に、十分に活用されるものである。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、米国等の諸外国において大気環境基準等の強化の動きが相次いでいることから、そうしたより低い濃度レベルにおいても我が国で影響が見られるかどうかを確認する必要がある。 ・国内では特に、光化学オキシダントの環境基準達成率が著しく低く、またその環境中濃度は漸増していることから、光化学オキシダントに軸足を置きつつ、その他の汚染物質も含めた健康影響調査を実施する必要がある。 ・以上より、大気環境基準の設定・見直し等の根拠となる科学的知見の集積には、継続的な調査・研究が必要不可欠であるものの、人の健康影響の未然防止の観点から、特に優先度の高い項目に集中投資を行うことで、必要に応じた基準見直しや対策につなげる。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>継続して大気汚染物質による健康影響調査を行う必要性は理解するが、効率的な事業実施に努め、必要最小限の概算要求額とすること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>継続事業のうち、環境ナノ粒子等に関する調査研究業務について事業内容の見直しを行い、また、有害大気汚染物質による健康影響を把握するための調査業務等が見込まれること等を勸業し、必要最低限の予算要求を行うこととしたもの。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	279	平成23年行政事業レビュー	088

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

【公募】

環境省
 284百万円

微小粒子状物質及び光化学オキシダント等の大気汚染物質について科学的知見を集積し、大気環境基準等の必要な設定・見直し等を検討する。

【随意契約】

A. 日本エヌ・ユー・エス(株)
 55百万円

粒子状物質について、科学的知見の収集・整理を行った上で、主に医学に関する学識者で構成される検討会等を設置し、健康影響評価に係る知見について検討し、微小粒子状物質の健康影響に関する適切な評価に資する。

【随意契約】

B. (医)こころとからだの元氣プラザ
 7百万円

肺機能の測定業務を行う。

【総合評価】

C. 日本エヌ・ユー・エス(株)
 8百万円

微小粒子状物質及び光化学オキシダントの曝露量と健康影響との関連性を明らかにするため、動物実験による生体影響基本調査及び毒性学調査に係る研究計画の検討を行う。

【一般競争入札】

D. ムラタ計測機器サービス(株)
 125百万円

微小粒子状物質等の質量連続測定及び試料採取・成分分析等を行い、大気中微小粒子状物質等の基礎データを収集・整理する。

【一般競争入札】

E. 日本エヌ・ユー・エス(株)
 10百万円

微粒子状物質及び光化学オキシダントの曝露による健康影響について、疫学及び毒性学に関する文献を整理し、とりまとめる。

【随意契約】

F. (財)日本環境衛生センター
 20百万円

微小粒子状物質等大気汚染物質と健康影響との関連性に関する知見の集積に資するため、CAPs曝露システムを用いた毒性学研究等について検討・実施す

【随意契約】

G. (株)ソルテック
 9百万円

CAPs曝露施設の移設を行う。

【公募】

H. (独)国立環境研究所
 32百万円

環境ナノ粒子について、諸外国の知見を収集するとともに、環境中動態の把握や毒性に係る動物実験等の調査研究を実施する。

【随意契約】

I. 横浜国立大学
 1百万円

環境ナノ粒子に係るラジカル測定に関する業務を実施する。

【一般競争入札】

J. (株)ハオ技術コンサルタント事務所
 29百万円

全国の地域等における大気汚染濃度を示すことができるデータベースを整備する。

【随意契約】

K. 地方公共団体
 0.1百万円

微小粒子状物質等の実測調査に係る測定場所の行政財産使用料

【随意契約】

L. 日本エヌ・ユー・エス(株)
 1百万円

元素状炭素に関する国際的な枠組みや先進国に関する知見の収集を行う。

【随意契約】

M. (財)日本環境衛生センター
 1百万円

CAPs曝露装置について移設や廃棄を進め、費用対効果等の面から今後の有効な取り扱い方針を検討する。

【随意契約】

N. (株)ケー・シー・エス
 1百万円

CAPs曝露装置及びその関連装置について、定期的に点検及び試運転を行い、維持管理を適切に行う。

【随意契約】

O. (有)ステラ
 1百万円

横浜市に設置されていたCAPs曝露装置を撤去した跡地の原状回復を行う。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A 日本エヌ・ユー・エス(株)			F. (財)日本環境衛生センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		24	人件費		5
諸謝金	諸謝金	3	業務費	旅費、謝金、会議費、借料、印刷製本費	1
旅費	旅費	3	業務費	再委託(CAP曝露施設の移設)	9
備品費	減価償却費	2	業務費	電気、水道引き込み、電気計装	3
人件費	賃金職員費	4	その他	一般管理費、消費税	2
外注費	肺機能測定業務	7			
その他	借料、会議費、通信費、印刷費等	3			
その他	一般管理費、消費税	9			
計		55	計		20
B. (医)こころとからだの元氣プラザ			G. (株)ソルテック		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	肺機能測定業務	7	雑役務費	CAP曝露施設の移設	9
計		7			
C. 日本エヌ・ユー・エス(株)					
費目	使途	額(百万円)			
人件費		2			
雑役務費	委託研究費	5			
その他	謝金、印刷、管理費、消費税ほか	1			
計		8	計		9
D. ムラタ計測機器サービス(株)			H. (独)国立環境研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		21	人件費		3
備品費	測定機レンタル	58	消耗品費	試薬、実験器具、実験動物等	15
消耗品費	測定機周辺材料、測定消耗品	5	人件費	賃金	3
雑役務費	測定機点検	3	雑役務費	雑役務費、印刷製本費	4
分析費		17	雑役務費	再委託(環境ナノ粒子に係るラジカル測定に関する業務)	1
その他	電気代、通信費	2	その他	旅費、借料、謝金、会議費、通信運搬費	1
その他	車両費、燃料費、交通費、宿泊・日当	8	その他	一般管理費、消費税	5
その他	一般管理費、消費税	11			
計		125	計		32
E. 日本エヌ・ユー・エス(株)			J. (株)ハオ技術コンサルタント事務所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		3	人件費		24
諸謝金	諸謝金	1	その他	交通費、印刷製本費	1
旅費	旅費	1	その他	一般管理費、消費税	4
人件費	賃金職員費	2			
その他	借料、会議費、印刷費等	1			
その他	一般管理費、消費税	2			
計		10	計		29

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	粒子状物質について、科学的知見の収集・整理を行った上で、主に医学に関する学識者で構成される検討会等を設置し、健康影響評価に係る知見について検討し、微小粒子状物質の健康影響に関する適切な評価に資する。	55	随意契約	
2					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(医)こころとからだの元氣プラザ	肺機能の測定業務を行う。	7	再委託	
2					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	微小粒子状物質及び光化学オキシダントの曝露量と健康影響との関連性を明らかにするため、動物実験による生体影響基本調査及び毒性学調査に係る研究計画の検討を行う。	8	1	100
2					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ムラタ計測機器サービス(株)	微小粒子状物質等の質量連続測定及び試料採取・成分分析等を行い(春夏季)、大気中微小粒子状物質等の基礎データを収集・整理する。	125	1	89.4
2					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	微粒子状物質及び光化学オキシダントの曝露による健康影響について、疫学及び毒性学に関する文献を整理し、とまとめる。	10	1	99.1
2					

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本環境衛生センター	微小粒子状物質等大気汚染物質と健康影響との関連性に関する知見の集積に資するため、CAPs曝露システムを用いた毒性学研究等について検討・実施する。	20	随意契約	
2					

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ソルテック	CAPs曝露施設の移設	9	再委託	
2					

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	環境ナノ粒子について、諸外国の知見を収集するとともに、環境中動態の把握や毒性に係る動物実験等の調査研究を実施する。	32	随意契約	
2					

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横浜国立大学	環境ナノ粒子に係るラジカル測定に関する業務	1	再委託	
2					

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ハオ技術コンサルタント事務所	全国の地域等における大気汚染濃度を示すことができるデータベースを整備する。	29	1	96.2
2					

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	地方公共団体	微小粒子状物質等の実測調査に係る測定場所の行政財産使用料	0.1	随意契約	
2					

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	元素状炭素に関する国際的な枠組みや先進国に関する知見の収集を行う。	1	随意契約	
2					

M.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本環境衛生センター	CAPs曝露装置について移設や廃棄を進め、費用対効果等の面から今後の有効な取り扱い方針を検討する。	1	随意契約	
2					

N.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ケー・シーエス	CAPs曝露装置及びその関連装置について、定期的に点検及び試運転を行い、維持管理を適切に行う。	1	随意契約	
2					

O.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)ステラ	横浜市に設置されていたCAPs曝露装置を撤去した跡地の原状回復を行う。	1	随意契約	
2					